

SOLIDWORKS® 2022の新機能 - データ管理

SOLIDWORKS Manage

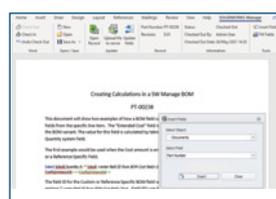


1 BOM (部品表)の改良

- システムに直接アクセスできないユーザーとWebリンクを介してBOMデータを共有し、編集可能なフィールドを使用してフィードバックを得ることができます。
- BOMフィルタを作成して保存して、必要な情報だけを表示させることができます。

メリット

効率的かつ管理された方法でBOMデータを外部ユーザーと共有し、フィードバックを簡単に取得できます。

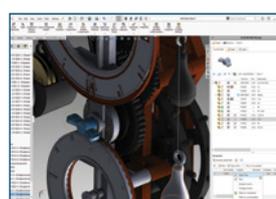


2 Microsoft Officeとの統合

- Microsoft® Excel、Word、PowerPointアプリケーションを使用して、関連付けられたフィールドの追加、チェックアウト、チェックイン、新しいドキュメントの作成を簡単に行うことができます。

メリット

一般的なCAD以外のタイプのドキュメントを使用した場合に、作業をより効果的に実行できます。

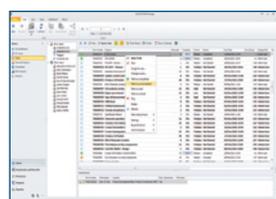


3 SOLIDWORKSとの統合

- SOLIDWORKSファイルに関連付けられたタスクを、タスクパネル アドインで直接表示して編集できます。
- 選択したファイルにコメントを追加し、タスクとコメントが存在するファイルのアイコンを表示できます。
- SOLIDWORKSのプロパティカードの関連ファイル、コンフィギュレーション、タスク、コメントの各タブに詳細が表示されます。

メリット

SOLIDWORKSのユーザーインターフェースを離れる必要がなくなり、SOLIDWORKSでのファイルの操作が効率化します。

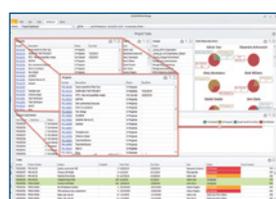


4 タスクの改良

- 完了したタスクを「未完了 (Uncompleted)」に設定すると、編集できるようになります。
- 新しいグローバル設定を使用して、パブリック、プライベート、ユーザー選択の各タイプのタスクを作成できます。

メリット

タスクを管理する際の生産性が向上し、時間が短縮します。



5 Webリンク

- URLアドレスをシステム フィールドとして自動的に作成し、通知、ダッシュボード、レポートに挿入することで、関連情報にすばやくアクセスできるようになります。

メリット

任意のデバイスのブラウザからシステム情報にすばやくアクセスできます。